

## 審査講評

最優秀賞に決定した小川幸治さんの「桜満開の佐賀城本丸外御書院大広間」は、満開の桜を画面手前に大きく入れ、佐賀城本丸歴史館の建物を背景に撮られたものですが、爽やかな青空が桜の花をさらに引き立て、桜の花の間から見える二人連れの人物ものどかな春の雰囲気を感じさせてくれます。十分に計算された巧みな画面構成で作者のメッセージが感じられる作品です。

優秀賞・宮地敏雄さんの「佐賀城まつりファミリー」は、女の子がポニーに体験乗馬しているところを撮られたものと思いますが、側ではお母さんが満面の笑顔でカメラを構えている様子がとっても微笑ましく感じられます。さぞ貴重な記念写真が撮れたんだろうなといったいろんな物語を想像させてくれるスナップ作品です。背景の鯨の門も効果を上げていますし、動きのある被写体にもかかわらず、お母さんの笑顔の瞬間と全体の画面構成を上手くまとめられていることに作者の力量を感じます。

優秀賞・廣瀬孔明さんの「撃てっ！」は、佐賀城まつりで行われた大砲・鉄砲の演舞の様子を撮られたものと思いますが、大砲が撃たれた瞬間を上手く捉えた作品で、大砲から出た炎や煙からはすさまじい音と火薬の匂いまで感じられる作品となっています。

優秀賞・伊奈守隆さんの「舟を浮かべて」は、桜満開のお堀で舟の遊覧を楽しんでいる光景を撮られています。満開の桜と水面一杯に桜の花が浮かんでいるところを遊覧の舟が通る瞬間をタイミング良く写されています。のどかなゆったりとした春を感じます。露出をもう少しアンダーにして撮れば、さらに美しい作品になったと思います。

以上の作品を選ばせていただきましたが、残念ながら入賞を逸した作品の中にも入賞作品と同等レベルの作品がありましたことを申し添えます。また、今回は佐賀城まつりと桜の作品が多く応募されていましたが、佐賀城公園では紅葉など四季を通じて素晴らしい姿を見ることが出来ると思います。新しい新鮮な風景、光景を発見するのも楽しいと思います。